

「未来への願い」を学ぶ意欲へ!

—若者たちの体験を希望と絆にかえて—

日時: **2011年7月29日(金)** 10:30-17:00 (10時30分から**高校生の報告会**を行います)

場所: [東北大学 青葉山キャンパス 工学部センタースクウェア 大講義室](#)

主催: 電子情報通信学会「未来世代から見たコミュニケーション科学の魅力と学習意欲向上」

第3種研究会(ヒューマンコミュニケーショングループ)

(委員長 原島 博:東京大学名誉教授)

共催: 東北大学 電気・情報系

(運営委員長 畠山力三:東北大学大学院工学研究科教授)

企画: 東日本大震災被災地高校生支援事業 仙台学習意欲シンポジウム実行委員会

(代表 川島隆太:東北大学加齢医学研究所教授)

後援: 宮城県教育委員会 岩手県教育委員会 河北新報社 東京エレクトロン 河合塾 YDK セレステイカジャパン 日本無線 日本工営

参加: 高校生無料 その他(資料代1000円) だれでも聴講できます。直接、会場にお越しください。

(情報: <http://saas01.netcommons.net/mogai/htdocs/> 連絡先:小粥幹夫(東北大)mogai@ecei.tohoku.ac.jp 022-795-7167)

第一部 “未来世代の描く社会”

司会 小粥 幹夫(東北大学工学部特任教授)

10:30-10:40 高校生へのメッセージ(開会挨拶)

東日本大震災被災地高校生支援事業 実行委員会代表 **原島 博**
(東京大学名誉教授)

10:40-12:20 絆を広げ創造へ 「**私たちの願い**」

高校生グループ
(岩手、宮城県三陸沿岸高校)

12:20-12:40 報告を聴いて 「**願いを叶えるために**」

鈴木 敏恵
(内閣府 中央総合防災会議専門調査会委員)

第二部 “大震災から学ぶ”

司会 日比野 雅夫(YDK(株)取締役相談役)

13:30-14:00 「**改めて人の絆と感性の大切さを思う**」

電子情報通信学会第3種研究会 委員長 **原島 博**
(東京大学名誉教授)

14:00-14:30 「**ICTによる創造的復興へ**」

本間 祐一
(総務省 国際戦略企画官)

第三部 “東北大学からのメッセージ”

司会 行場 次朗(東北大学文学部教授)

14:30-15:00 「**体験を意志と意欲に**」

川島 隆太
(東北大学 加齢医学研究所 教授)

15:00-15:10 「**東北復興・日本再生に向かって**」 (中締め挨拶)

畠山 力三
(東北大学電気情報系運営委員長 教授)

<パネル討論> 高校と大学、学会のメンバーとの意見交換です。

15:30-17:00 「**若者たちの学びに大人ができること**」

司会 行場 次朗(東北大学文学部教授)

パネリスト: **吉田達行**(宮古高校)、**佐藤忠司**(気仙沼高校)、**安藤紀典**(河合塾)が上記講師に加わります。

<交流会> 7時30分より学内レストランで開催予定です。(参加費2,000円程度予定)

<7月28日> “**東北大学からのメッセージ**”

司会 小粥 幹夫(東北大学工学部特任教授)

以下2つの講演は、日程の都合により前日の高校生の合宿の冒頭で行います。

16:40-17:00 「**災害に強い情報通信ネットワーク構築を目指して**」

安達 文幸
(東北大学工学研究科 教授)

17:00-17:20 「**大震災と救急医療 学びを生かして**」

西條 芳文
(東北大学医工学研究科 教授)

注:講師、タイトルを含めてプログラムの一部の変更があることがあります。

<趣旨>

3月11日に発生した大震災は未来を背負う若者にも大きな衝撃を与えました。被災した高校生が生きる喜びと未来に向かう勇気を取り戻し、目標に向かって学習意欲を高めるにはどうしたらよいでしょうか? 東北大のオープンキャンパスに参加した被災地の高校生の皆さんが仲間とともに合宿して、大震災で感じたこと、考え行動したこと、これからしたいことを議論いただき、第一部で報告いただきます。続く第二部では、ライフラインとなるべき情報通信システムが麻痺してしまった現実を直視し、情報の重要性を思い起こしながら内容や伝え方の将来像を一緒に考えます。人間には危機を乗り越え生き延びる適応力、東北人固有の強さもあります。第三部では、環境の変化の動機や意欲の与えるインパクトや問題点も整理しながら、若者を中心とした東北復興への道を探ります。引き続きパネル討論では、高校の先生にも参加いただいて、学会、大学との連携を深め、日本再生の道を模索します。